

国 労 鹿 児 島

第3回定期総会を開催！

団結し 職場から運動を進め
組織拡大を目指そう！



十一月九日、武公民館において第3回定期総会を開催した。
西原執行委員が「南九州に初めてスマートサポートが導入される。また、効率化も進められていくと思う。少数だが現場から抵抗し頑張ろう」と開会の挨拶をした。

九州本部岩元書記長から「JR病院が売却されようとしている、地域医療の問題がでている。赤字だからというが、そうなればローカル線はどうなるのか。また、雇用についても問題が山積である。65歳以上の再雇用が出たが、60歳以上の問題についても今後改善をもとめていく。お歳暮ノルマが無くなったが、これも国労が積み重ねた運動であると思う。また生命にかかわる事象

も起きている。安全輸送の確立が急務である。組織拡大は最重要の取組みであることを再度確認しよう。

すべての闘いは職場闘争が重要となる。職場集会を開催し、分会活動を強化しよう」と挨拶された。

総会はその後、黒木副委員長長の「経過報告」福田書記長代行からの「方針案」が提起され、質疑後全員一致で承認された。

財政は、松岡財政委員長から、2018年度決算と2019年度予算について小委員会を確認した事が報告され、全体で承認した。その後、2019年度地区本部役員を選出した。

最後に、原村委員長長の団結頑張ろうで今後1年間全員で闘うことを確認し閉会した。



九州本部岩元書記長

2019年度新役員

役職	氏 名	職 場
委員長	原村克則	サービスサポート
副委員長	黒木真司	宮崎乗務センター
	福田公彦	鹿児島乗務センター
書記長	西原孝徳	鹿児島乗務センター
書記次長	川崎義彦	鹿児島乗務センター
執行委員	丸山純一	鹿児島乗務センター
	原園伸二	鹿児島乗務センター
	川越秀美	鹿児島乗務センター
会計監査	小倉庸一	関連
	小磯洋一	鹿児島乗務センター

共に頑張りましょう。

＊＊質疑＊＊

- ◆若手社員の退職が多いと聞くが。何か問題があるのでは。パワハラ等の問題もあるのではないか。
- ◆関連の不正があったが、どうなったのか。別の問題もあるのか。
- ◆65才以降の短日勤務、面談で、予備で運用と言われたと聞いたが。
- ◆65歳以上の条件を60歳からとする改善を求めたい。
- ◆組織拡大に向け、具体的計画と取組みの提起を。

発言する松岡組員

発言する的場組員

議長の下永組員



原村委員長 大会挨拶



地区本部執行委員長の原村です。地区本部執行委員会を代表し、4点について申し上げたいと思います。

一点目は、最重要課題である組織の強化拡大についてです。地区本部として昨年は、2名の仲間が国労に加入されました。しかし、昨年総会以降、4名の仲間が退職され、国労を離れることになりました。今回の総会参加者名簿でも明らかなように今後も退職に伴う組合員の減少は避けられません。

地区本部は2月20日に新規加入の九州本部青年部員迎え、組織拡大対策会議を開催し直接青年労働者と交流を行い、組織拡大に向け全組合員が奮闘する事を確認しました。

国労運動の継承、発展のためにも組織拡大は必要不可欠であり、決してあきらめる事なく全組合員が全力を挙げ取り組みを強化することをお願いします。

二点目は合理化反対、安全安定輸送の取り組みについてであります。

9月30日、来年5月にスマートサポートステーションを指宿枕崎線の郡元から喜入間11駅に導入し、現在の

有人駅8駅の内新たに7駅を無人化とする事を正式に発表しました。高齢者や障害者への対応など、安全無視の無人化施策は鉄道の公益性や、地域公共サービスの低下をもたらすものであり、容認することは出来ません。

すでに私の職場にも多くの利用者から不安の声がよせられています。利用者や市民のみなさんと共に撤回に向けて運動を作っていく必要があります。

三点目は2020春闘をはじめとする労働条件改善について有ります。

2019春闘では賃上げ4%のアップ1万円の統一要求と夏季手当3ヶ月を掲げて闘いました。JR九州の結果は4年連続のベア300円の有額回答、夏季手当2.56ヶ月の有額回答でありましたが、国労の要求とはかけ離れたものであり、到底納得のいくものではありませんでした。2020春闘ではこれまで以上に運動を強化していく必要があります。

JR九州は9月20日、勤務・賃金等の一部改正の労働条件変更の提案を行ってきました。その内容は、フレックスタイム制の適用範囲の拡大、地域社員の勤務・賃金等の一部改正、嘱託再雇用社員の勤務・賃金等の一部改正、弔慰金の見直しであります。

嘱託再雇用社員の勤務・賃金等の一部改正のおもなものは、雇用期間の延長については、雇用期間を70才に達する日の属する月の末日とする。60才から65才までは原則5年、65才から70才まで原則1年とするという

ものです。

短日数制の労働条件については、特別休日年間110日とし、基本給を121,070円、159,280円とする。期末手当は社員の3、4ヶ月を支払うと言うものです。

国労として、安心して働き続けられる労働条件と生活出来る賃金を求めて闘いを強化する必要があります。

四点目は、政治的課題と平和と民主主義を守る闘いについてです。

4月7日に行われた鹿児島県議会選挙では福司山宣介県議の3回目の当選を勝ち取ることができました。奮闘された組合員の皆様に敬意を表します。

7月の参議院選挙では、反戦・平和・憲法擁護・民主主義擁護の立場で全力で取り組み、改憲勢力の3分の2以上の議席確保は阻止しましたが、憲法改正に執念を燃やし、戦争の出来る国作りを推し進めて行く安倍政権の暴走を許さず、反戦、反基地、平和と民主主義擁護、脱原発などの取り組みを共闘組織と連携して強化していくことをします。

来年4月の鹿児島市議会議員選挙では国労議員団の大森忍議員を推薦して闘っていきたいと思います。組合員の皆様の奮闘をお願いします。

以上述べました諸課題の前進に向けて全組合員が力を合わせて奮闘することを確認し、地区本部執行委員会は運動の先頭に立ち戦うことを申し上げます。第3回定期総会の開催にあたっての挨拶といたします。

来賓の皆様



桐原鉄退会会長



労金吉満支店長



大森忍市議



フォーラム満永代表



福司山ノブスケ県議